

2025 年 9 月 4 日

JR Automation

(本件は、アメリカ東海岸において、
9月3日8:30(日本時間21:30)に発表しました。)

JRオートメーション、7,280万ドルのグローバル本社建設計画を発表

日立幹部、JRオートメーション経営陣、ミシガン州知事による東京での戦略会議で、スマート製造のグローバルな発展に向けた共通のコミットメントを示す



株式会社日立製作所(以下、日立)の米国子会社で、グローバルな自動化分野のリーダーである JR Automation Technologies, LLC(以下、JR オートメーション)は、米国ミシガン州ジールランドに新たなグローバル本社を建設する計画を発表しました。日立幹部、JR オートメーション経営陣、ミシガン州知事 Gretchen Whitmer(グレッチェン・ホイットマー)氏が東京において、戦略会議を行った後に発表されたもので、同社のイノベーションやグローバルなコラボレーション、ミシガン州の先進の製造業への投資に対するコミットメントを示しています。JR オートメーションは 2025 年 9 月 17 日に新本社の起工式を正式に行い、建設は 2026 年秋の終わりまでに完了予定です。

本件は JR オートメーションの創業者 Ken Wassink(ケン・アシンク)の先見的な功績を称えるものです。彼の先駆的な精神は、ミシガン州西部を先進的なオートメーションの拠点として確立することに貢献しました。また、グローバル本社を創業の地に持つことで、日立がその遺産を守り続けようとする献身的な姿勢も示しています。

「この投資は、持続可能なイノベーションを通じて Integrated Industry Automation^{*1}と Lumada^{*2}の未来を形作るという当社の長期的なコミットメントを反映しています。ミシガン州で JR オートメーションの能力を強化することで、デジタルツイン、エッジコンピューティング、AI を融合した、One Hitachi による、画期的な技術拠点を設立し、真にインテリジェントな製造エコシステムを構築して、お客さま、パートナー、株主に持続的な価値を提供します」と、日立アメリカ社長兼 CEO の竹内康浩は述べています。

新社は総面積 286,000 平方フィートで、76,000 平方フィートのオフィススペースと 210,000 平方フィートの顧客向けオートメーションプロジェクトの組立スペースを含みます。新本社にはミシガン州西部の各地から約 350 人の従業員が集結し、最先端のキャンパスとなります。この移転は、欧州で MA micro automation GmbH の買収^{*3}やシンガポールでの拡張を通じて、JR オートメーションがグローバル展開を加速させている中で行われます。

「JR オートメーションの新グローバル本社は、イノベーションへの投資と、ミシガン州と日立のようなグローバルリーダーとの強力なパートナーシップが実現する力強い例で、プロジェクトは良質な雇用を維持・創出し、先進的な製造業を強化し、ミシガン州を最先端技術の拠点としての地位をさらに高めます」とホイットマー知事は述べています。

「JR オートメーションは真のグローバル企業となり、顧客の受け入れ、技術の展示、優秀な人材の獲得に対応できるスペースが必要です。新社は、活気あるオートメーション・先進的な製造業の中心に位置し、業界とのつながりと競争力をさらに強化します」と JR オートメーション CEO 兼日立製作所インダストリアルデジタル事業統括本部オートメーション事業部長の Dave DeGraaf(デイブ・デグラフ)は述べています。

新本社には、グローバル顧客との協創や、最新オートメーション技術のデモンストレーションのための近代的なスペースが設けられます。従業員の体験を重視し、敷地内フィットネスセンターや、持続可能な取り組みと自然とのつながりを促すワークスペースなど、優秀な人材の獲得・定着をめざした設備が整備されます。45 エーカーのキャンパスには、歩行や自転車での利用が可能な舗装された道が、元来の生態系とも調和するよう整備されます。

新社はまた、JR オートメーションが 2030 年までにカーボンニュートラルと埋立廃棄物をゼロにするという目標を達成するための重要な一歩となります。キャンパス全体でのネイティブな生物多様性の育成や、非生産用電力の敷地内での再生可能エネルギーによる供給など、環境保護と地域社会への貢献へのコミットメントが示されています。

1980 年に自動車産業での家族経営の企業として創業した JR オートメーションは、産業オートメーションとスマート製造技術のグローバルリーダーへと成長しました。急速な成長の中で二つのプライベートエクイティファームからの投資を受け、2019 年に日立に買収されました。現在は世界 21 拠点で 2,000 人以上を雇用し、航空宇宙、自動車、消費財、エネルギー、ライフサイエンス、倉庫業など多様な業界にサービスを提供しています。

*1 Integrated Industry Automation : Integrated Industry Automation により、ミッションクリティカルな製品の垂直統合、豊富な OT 領域の知識、高度な IT を活用し、AI を駆使して成長する産業分野で水平統合を推進します

*2 Lumada : お客さまのデータから価値を創出し、デジタルイノベーションを加速するための、日立の先進的なデジタル技術を活用したソリューション・サービス・テクノロジーの総称

*3 2024 年 10 月 1 日: [日立、ロボティクス SI 事業を展開するドイツの MA micro automation 社の買収を完了](#)

JR オートメーションについて

JR オートメーションでは、統合された製造ソリューションによって、ビジネスのスピードに合わせて適応・進化・拡大し、可能性を加速させます。45 年以上の経験を持ち、私たちは複雑な製造課題の解決に取り組み、現在だけでなく未来に向けても成果を提供します。日立グループの一員として、2,000

人以上のチームが北米、ヨーロッパ、アジアの 21 拠点からお客さまにサービスを提供しています。詳細は <https://www.jrautomation.com> をご覧ください。

日立製作所について

日立は、IT、OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用した社会イノベーション事業(SIB)を通じて、環境・幸福・経済成長が調和するハーモナイズドソサエティの実現に貢献します。デジタルシステム&サービス、エネルギー、モビリティ、コネクティブインダストリーズの 4 セクターに加え、新たな成長事業を創出する戦略 SIB ビジネスユニットの事業体制でグローバルに事業を展開し、Lumada をコアとしてデータから価値を創出することで、お客さまと社会の課題を解決します。2024 年度(2025 年 3 月期)売上収益は 9 兆 7,833 億円、2025 年 3 月末時点で連結子会社は 618 社、全世界で約 28 万人の従業員を擁しています。詳しくは、www.hitachi.co.jp をご覧ください。

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
